

## 絶対位置指定

fo:block-container を使用し、領域の絶対位置とサイズを指定して、文字を配置することができます。

```
absolute-position="absolute" top="50mm"  
left="00mm" width="78mm"  
height="60mm"
```

文書類の電子化の方法として 1986 年に SGML が ISO 標準となった。

拡張性/構造的/正規性にすぐれた仕様であり、1990 年には特許庁の電子出願のフォーマットに採用されたが、500 ページを超える膨大な規約は理解しづらく、導入するにあたり初期費用がかさむといった問題点があった。

```
absolute-position="absolute" top="50mm"  
left="90mm" width="78mm"  
height="60mm"
```

文書類の電子化の方法として 1986 年に SGML が ISO 標準となった。

拡張性/構造的/正規性にすぐれた仕様であり、1990 年には特許庁の電子出願のフォーマットに採用されたが、500 ページを超える膨大な規約は理解しづらく、導入するにあたり初期費用がかさむといった問題点があった。

```
absolute-position="absolute" top="115mm" left="20mm"  
width="120mm" height="50mm"
```

文書類の電子化の方法として 1986 年に SGML が ISO 標準となった。

拡張性/構造的/正規性にすぐれた仕様であり、1990 年には特許庁の電子出願のフォーマットに採用されたが、500 ページを超える膨大な規約は理解しづらく、導入するにあたり初期費用がかさむといった問題点があった。

```
absolute-position="absolute"  
top="170mm" left="00mm"  
width="60mm" height="85mm"
```

文書類の電子化の方法として 1986 年に SGML が ISO 標準となった。

拡張性/構造的/正規性にすぐれた仕様であり、1990 年には特許庁の電子出願のフォーマットに採用されたが、500 ページを超える膨大な規約は理解しづらく、導入するにあたり初期費用がかさむといった問題点があった。

```
absolute-position="absolute" top="185mm"  
left="70mm" width="88mm" height="58mm"
```

文書類の電子化の方法として 1986 年に SGML が ISO 標準となった。

拡張性/構造的/正規性にすぐれた仕様であり、1990 年には特許庁の電子出願のフォーマットに採用されたが、500 ページを超える膨大な規約は理解しづらく、導入するにあたり初期費用がかさむといった問題点があった。